

令和7年度 学校関係者評価（後期）

中津市立豊田小学校

1 学校の教育目標

ことばを大事にし、いつでもどこでもだれとでも高め合う豊田っ子を育てよう！

2 育成を目指す資質・能力

コミュニケーション能力

3 重点目標・達成指標、重点的取組等

評価判断基準	
A	…達成率90～100%
B	…達成率70～89%
C	…達成率60～69%
D	…達成率60%未満

生きて働く知識・技能の習得

思考力・判断力・表現力の育成

学びに向かう力、人間性等の涵養

働き方改革の推進

重点目標	達成指標	学校	重点的取組	取組指標	評価	◇〔成果と課題〕、及び ★〔次期（次年度）に向けての（取組）〕
基礎・基本を身に付ける 子どもの育成	①国語・算数の単元テスト【知・技】の平均80点以上 ②『児童アンケート』の重点的取組に関する項目でA評価65%以上 ③「市学力状況調査」、国語、算数の知識領域で全国値超え60%以上	学校	◆主体的な学びを育てる「みんな活躍授業」の日常化	◆授業者が算数の授業において、既習事項を振り返ったり、キーワードを提示したりすることで考えの見通しを持つ場を設定する。	A	◇実施率が95%というのとはとても素晴らしい。授業のパターン化により若手の先生方が基本的な指導方法を身に付け、指導の自信に繋がる。 ★個人差を考慮して一斉指導と個別指導を併用して指導することで児童一人ひとりの力を伸ばして欲しい。 ◇来校（毎週水曜日）時に廊下を走る児童を見かけることが無かった気がする。 ★先生方は声をしっかり掛けて下さっていると思いますが児童は走ってしまうので先生方には声掛けを続けて欲しい。 ★歩きスマホする児童がいるので学校でも声を掛けて欲しい。 ◇保護者の多忙がメディアへの依存、そして、ノースクリーンタイム継続の難しさに繋がるのだなと思いました。（アンケート回収率の低さが気になる） ★ノースクリーンタイムの実施、家庭学習習慣の定着に繋がる効果的な取組を学校でも家庭でも実施して欲しい。家庭での会話が長く取れたら楽しいですね。
			◆「とよだのきまり」を守る意識の育成	【3学期】 ◆全教職員は「ろうかや階段を静かに歩く」を徹底させるため、学級指導と合わせて、他学年の児童でも必ず声をかける。	A	
		家庭	◆学校と連携した家庭学習習慣の定着	◆ノースクリーンタイムを実施する ※家庭学習カードで家庭学習の取組状況を学期始め・終わりにチェックし、ほめたり、励ましたりする	D	
		地域				
相手や状況を考え 思いを伝え合う 子どもの育成	④国語・算数の単元テスト【思～表】の平均70点以上 ⑤『児童アンケート』の重点的取組に関する項目でA評価60%以上 ⑥「市学力状況調査」、国語、算数の活用領域で全国値超え60%以上	学校	◆協働的な学びを育てる「みんな活躍授業」の日常化	◆授業者が算数の授業において、聞き方「あいうえお」話し方「かきくけこ」を意識（常時掲示）させた「グループ（ペア）学び」の場を毎時間設定する。	C	★「グループ（ペア）学び」の成果が出ますことを期待しています。 ★児童の性格により意見を言う、言えないはあると思うので意見が出た時に否定しない。まずは聞く。を児童に教えて欲しい。 ◇永遠の課題ですが全教職員で取り組んでいることが素晴らしい。 ◇おとなしくても挨拶に会釈を返す。高学年で目上への言葉遣いが気になる。 ◇校外での言葉遣いが気になる。校内でも同じ様な姿があるのではないか。
			◆相手を思いやる気持ちの育成	【3学期】全教職員は ・「相手のことを考えた言葉遣い」の大切さを適宜指導する。 ・「言葉遣い」を帰りの会で振り返る場を設定する。 ・あいさつの大切さ（意義）を適宜指導する。	B	
		家庭	◆家庭・地域でのあいさつの推進	◆家庭・地域でのあいさつを声かけし、あいさつができた場合はほめる。	B	
共に学び共に行動できる 子どもたちの育成	⑦『児童アンケート』で「めあてを持って学習した」「調べ学習ができた」等に関する項目でA評価60%以上 ⑧『児童アンケート』で「みんなと一緒に学習して楽しかった」など協働的な学習に関する項目でA評価60%以上	学校	◆生活科・総合的な学習の時間を中心にした協働的な学習の推進	◆授業者が生活科・総合的な学習の時間に、互いの考えを伝え合う場を設定する。	B	◇今後の伸びしろに期待しています。 ◇課題の達成で時間がいっぱいだったように思う。 ◇授業参観中でも伝え合う光景が見られ常に取り組んでいることを嬉しく思う。 ★色々考える必要性を教えていって欲しい。 ◇とても工夫された誰もが主役の楽しい運動会でした。 ◇大きな行事はとても心を成長させると感じます。ありがとうございました。
			◆自己の取組状況や変容を実感させる場の保障	◆運動会練習後や人間関係づくりプログラム後に取組状況を振り返る場を設定する。	A	
		家庭				
MSGの徹底	⑨校務にかかる時間が確保できた70%以上 ⑩定時退庁日が完全実施できた80%以上 ⑪『学校アンケート』で「支援できた（地域、家庭）」70%以上	学校	◆校務分掌や会議、行事の見直し、改善	◆随時、状況（分掌業務、時間配分、議題等）を検証し、分掌業務、会議等を効率的に実施する。 ◆行事毎に振り返りを行う（改善Ver.の保存等）。	A	◇今後も期待します。◇大切なことだと思います。 ◇昔遊びなど、地域の方とのふれあいはお互いにとって良いことだと思います。 ◇児童が興味を持ってもらえる歴史や文化の授業に地域人がもっと協力できればと思います。 ◇先生方の生活バランスを整えることも大切だと思っています。 ★児童と付き合う先生が自分を高める時間を作るために今後も改善を図って下さい。何でも協力いたします。 ◇児童の掃除が少ないのが少し気になります。 ◇下校時間を繰り上げるなど、色々な取組をしておられることを評価したい。 ★授業時間と学力は比例しないと思いますので、先生方のスキルアップや健康管理に繋がるタイムマネジメントの改良を期待します。 ◇本当に楽しく参加しています。◇読み聞かせ活動をさせていただいています。 ◇今年度、大変忙しく参加が少ないので、もっと参加していきたいと思っています。 ◇ハロウィンフェス（公民館行事）でPTA（役員）と連携しスムーズな運営が出来た（来年度も頑張ります！）。★学校の積極的な呼び掛けを待っています。
			◆定時退庁日（金曜日）の完全実施	◆タイムマネジメント（優先順位等）を実施する。 ◆毎週の定時退庁日に声をかけあう。 ◆定時退庁に向けた改善策（時程表の変更）講じる。	C	
		家庭・地域	◆学校の教育活動、児童の安心・安全、環境整備の支援	◆学校運営協議会のもと、地域（スクスクプロジェクト）、家庭（PTA）が協働し、学校の支援体制を整備しながら、支援活動を実施する。	B	